

女性たちに必要な情報を
必要なタイミングでつながる地域を目指す

2023 秋田リアル プラットフォーム連絡会

参加無料

9.18 月 祝

14:30~16:30

テーマ

～女性を応援する人たちが
女の子の未来を後押しする～

会場

日本赤十字秋田看護大学

プログラム

第1部 14:50~15:20

『女性の社会的な健康問題に 取り組む医師 Femship Doctor』

一般財団法人 日本女性財団 代表理事 対馬ルリ子先生
信州大学医学部 周産期のこころの医学講座
講師 村上寛先生

第2部 15:30~16:00

『孤立から連帯へー秋田の女性の エンパワメントをめざしてー』

秋田大学大学院医学系研究科 教授 米山奈奈子先生

講師

対馬ルリ子先生

一般財団法人 日本女性財団 代表理事



村上寛先生

信州大学医学部
周産期のこころの医学講座 講師



米山奈奈子先生

秋田大学大学院医学系研究科 教授



対象

行政関係者、医療関係者、各種女性支援団体若年層性教育に関わる方
及び教育に関わる方、女性のWell-beingに関心がある女性及び男性

お申込み

WEBフォームにて
お申込みください。



後援 秋田県



女性たちに、生き抜く力を。
日本女性財団

令和5年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



日本赤十字社

学校法人 日本赤十字学園

日本赤十字秋田看護大学

Japanese Red Cross Akita College of Nursing

お問合せ

日本赤十字秋田看護大学 地域貢献委員会
事務局 渡部忠保（地域共生係）

代）018-829-4000
kyosei@std.rcakita.ac.jp

秋田リアルプラットフォーム連絡会 開催報告書(令和5年度 福祉医療機構 社会福祉助成事業)

開催名 秋田県秋田市
日時 2023年9月18日(月・祝)
会場 日本赤十字秋田看護大学
所在地 010-1493 秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢17-3

1 企画概要 産後のメンタルヘルスに対する予防的アプローチおよび秋田県における性暴力被害やアディクションの実情について共有し、秋田県における女性支援について意見交換を行う。その上で、女性の社会的な健康問題へ継続的に対応するための支援体制の構築に関する討議を行う。

2 参加者

人数 27名
分類 秋田県理事、秋田県議会副議長、秋田県職員、大学職員、市民
医療従事者 4名, 公務員 6名, 民間会社 1名, 団体職員 2名, その他(*) 14名
*教員、市議会議員、高校生、学生、本学職員

3 内容

プログラム 別添参照
登壇者 村上寛氏(信州大学医学部)、米山奈奈子氏(秋田大学大学院医学系研究科)
講演内容 信州の妊産婦さん達のメンタルヘルスと向き合う
(信州大学医学部・村上寛先生)
孤立から連帯へー秋田の女性のエンパワメントをめざしてー
(秋田大学大学院医学系研究科・米山奈奈子氏)

4 収支

5 アンケート

別紙参照

6 写真

別紙参照

〈令和5年度 第1回公開講座 アンケート結果〉

「2023秋田リアルプラットフォーム連絡会」

日 時: 令和5年9月18日(月・祝)14:30~16:30

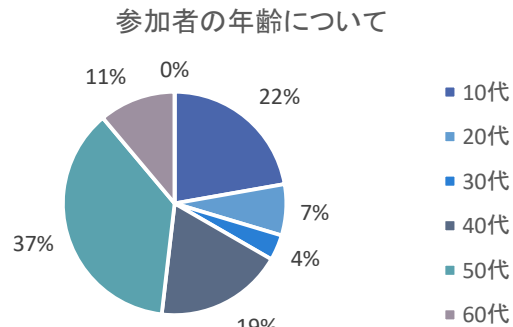
テーマ: ~女性を応援する人たちが女の子の未来を後押しする~

講 師: 対馬 ルリ子 氏(一般財団法人 日本女性財団 代表理事)
村上 寛 氏(信州大学医学部 周産期のこころの医学講座 講師)
米山 奈奈子 氏(秋田大学 大学院医学系研究科 教授)

参加者	39名
回答数	27件
回答率	69.2%

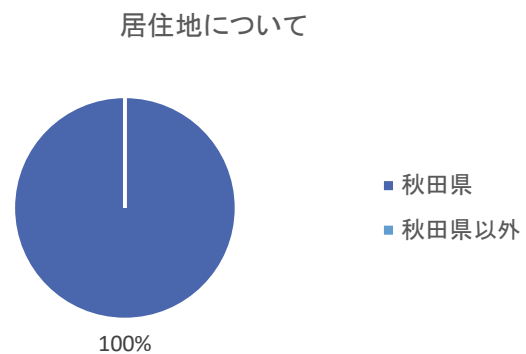
1. あなたの年齢(年代)について伺います。

	人数	割合
10代	6名	22.2%
20代	2名	7.4%
30代	1名	3.7%
40代	5名	18.5%
50代	10名	37.0%
60代	3名	11.1%
70代以上	0名	0.0%



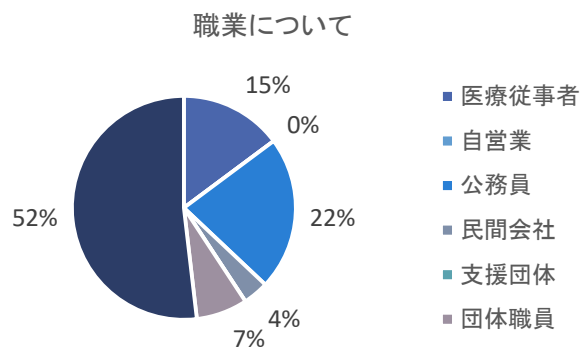
2. あなたの居住地について伺います。

	人数	割合
秋田県	27名	100.0%
秋田県以外	0名	0.0%

秋田市:15名
仙北市:1名
能代市:4名

3. あなたのご職業について伺います。

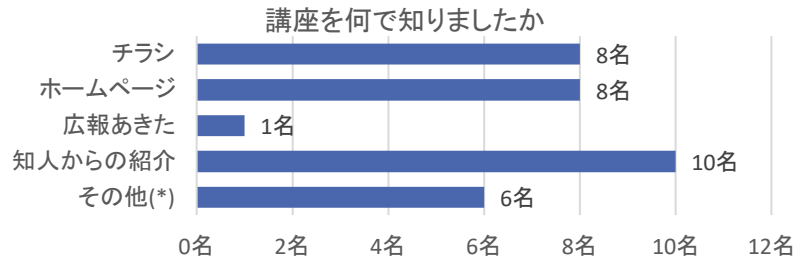
	人数	割合
医療従事者	4名	14.8%
自営業	0名	0.0%
公務員	6名	22.2%
民間会社	1名	3.7%
支援団体	0名	0.0%
団体職員	2名	7.4%
その他(*)	14名	51.9%



*教員、市議会議員、高校生、学生、本学職員

4. 今回の公開講座を何で知りましたか(複数回答可)。

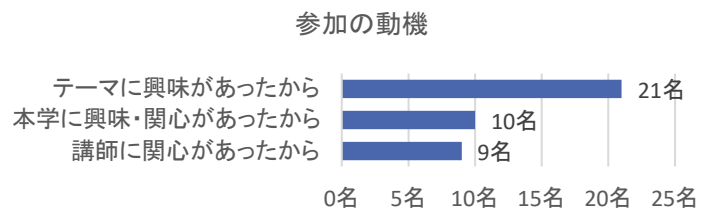
	人数	割合
チラシ	8名	24.2%
ホームページ	8名	24.2%
広報あきた	1名	3.0%
知人からの紹介	10名	30.3%
その他(*)	6名	18.2%



*Facebook、Instagram、子供から聞いた、学校・クラスの掲示物にて、大学院授業での紹介

5. 講座への参加の動機を教えてください(複数回答可)。

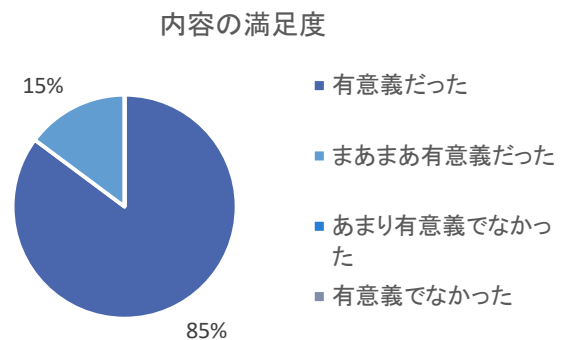
	人数	割合
テーマに興味があったから	21名	53%
本学に興味・関心があったから	10名	25%
講師に関心があったから	9名	23%
その他	0名	0%



6. 今回の講座についてお伺いします。

1) 内容はいかがでしたか。

	人数	割合
有意義だった	23名	85.2%
まあまあ有意義だった	4名	14.8%
あまり有意義でなかった	0名	0.0%
有意義でなかった	0名	0.0%



2) 上記のように感じた理由をお聞かせください。

- ・ 母子寮を利用したり、本日お話に出てきた支援センター等を利用していた者です。米山先生がお話されていたように、秋田は支援する側(職員)の理解が全く進んでおらず、様々残念なところがあります。当時は悲しく、悔しい思いを多々しました。そして何も解決に至らず、最悪な思い出しかありません。県の後援で女性理事や県議会の副議長が来ていたので、ぜひ、今日の内容を県の福祉事務所や県・市の窓口対応職員へのフィードバック、研修等行ってほしいと思います。理解が進んでいない秋田県内にもっともっと広がってほしいと思いました！
- ・ 秋田の未来を元気にするために女性が幸せに生きる社会を創ることは必須だと考えています。そのためのヒントがたくさんありました。地域の様々な分野の方々と協力、連携して女子教育を通して地域に貢献していきたいという思いを新たにしました。
- ・ 普段なかなか聞くことができない専門的分野の講演で参加して良かったと思います。また更に一步踏み込んだ内容を学びたいです。
- ・ 女性の健康問題や安全・安心に暮らせるために支援者ができること、ジェンダーの問題を深く知ることができたから。相手の気持ちに寄り添い、心のケアをしていくことが素晴らしいことだなと思ったから。
- ・ 実際に行われている活動を知ることができた。秋田のために活動してくれている人がいることを知れてうれしいと感じた。
- ・ 医療機関・相談機関の連携・情報の共有がとても重要であると感じた。
- ・ 村上先生のハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの実例がとても興味深く、面白かった。
- ・ 女性がやりたい事ができる社会の実現に賛同します(娘3人いますので特に！)
- ・ 今まで聞いたことが余りない話でしたので、興味深く聞かせてもらいました。
- ・ 全国、他県、秋田県で女性の為の様々な取り組みがされている事が知れてよかったです。
- ・ 自分の将来やりたいことを見出せました。ありがとうございました。
- ・ 自分自身が研修(講演等)を受ける機会が少なく感じていたため、現地参加で大変勉強になる話を聞くことができてよかった。
- ・ 今後の母性の実習での女性の支援に役立つと感じたため。
- ・ 妊産婦さん達のメンタルヘルスの実際について知ることができ、大変興味深かったから。
- ・ 興味を持っていた内容だったので、詳しく聞くことができ視野が広がりました。
- ・ 産後うつの原因や多様性、複雑性が理解できた。
- ・ 秋田の女性を支援する具体などまだまだ理解不足があるので、今後の活動に期待したいと思いました。
- ・ 現場の実践に基づいた貴重で説得力あるお話でした。
- ・ 将来自分の働く幅が増えたと思った。今回の話を機に自分でも課題の解決法を考えていきたい。
- ・ 女性の活躍を推進する上で女性の心と身体の問題は切り離すことはできず、県内企業に女性の身体の問題、病気の問題にも配慮していただきたいため、学びにつながった。
- ・ 女性を支援する活動について理解することができたため。
- ・ 専門的な話を聞くことができた。
- ・ 対馬ルリ子先生のお話を直接お聴きでき、感無量でした。女性の健康が社会的価値があると知り、新たな境地が開かれた気がしました。村上先生、米山先生のお話も興味深く、また聴きたいです。

7. 本学の公開講座について、ご感想やご要望がありましたらご記入ください。

- ・ ありがとうございました。
- ・ 初めて参加させていただきましたが、女性の課題はまだまだ多く、またぜひ企画していただきたいです。
- ・ 女性の問題に関することをどう解決したらいいのか、どうしたら改善されるのかの取り組みについて話しているところがすごく一生懸命に取り組まれていると感じました。説得力がありました。
- ・ また機会があれば参加したいです。
- ・ 自分に希望を持てました。ありがとうございました。
- ・ 今後も開催していただきたい。
- ・ 認知症についての講座が聞きたい。
- ・ クオリティーの高い内容を展開していただき、感謝しています。継続的に参加したいです。

